

令和5年度第2回久寺家地区地域会議 議事録

【1】開催日時：令和5年10月1日（日）9：30～11：45

【2】開催場所：久寺家近隣センター 多目的ホール

【3】出席者：14 団体 24 名

委員：久寺家地区まちづくり協議会（4名）、久寺家自治会、
久寺家三菱自治会、久寺家2丁目自治会、久寺家マンション自治会、
土谷津町会、日新自治会、久寺家地区子ども会代表、
久寺家地区民生・児童委員、北地区社会福祉協議会、
消防団第九分団、みんなの広場「風」、よりみちサロン「風」
（兼：きらめきサロン、いきいきクラブ）、久寺家生活お助け隊、
地域会議事務局（3名）

陪席：我孫子市市民協働推進課（2名）、

我孫子市高齢者支援課

欠席：社会福祉法人栄興会つくし野荘

【4】議事（要旨）

（1）事務局より会議の内容と進行について説明があった。

（2）市民協働推進課より、コロナ後のイベント、活動などの
活発化を推進している、まち協イベントをバックアップする
などの挨拶があった。

（3）久寺家地区今年度活動のフォローアップ

各団体委員より今年度の活動の主な内容、要望事項など
について報告がなされた。

（まちづくり協議会）上半期は、健康マージャン大会、
サークル連絡会、夏休みラジオ体操会、映画会（一般、子供会）、
みんなの夏祭りなどを開催。ラジオ体操には99名、
子供映画会には40名参加。夏祭りを今年は子供向けの
祭りとして子供会連絡会が中心になり企画・運営し、
多くの家族が参加し賑わった。下半期は、秋の収穫祭、楽しく歌う会、
芋ほり大会、映画会、健康マージャン大会、書道教室、新春の集いなどを
企画している。また、ラジオ体操会場の公園草刈りにつき市から特別除草を
実施願った。

（久寺家自治会）7月の祭礼はコロナ判断により中止。

柏のデータセンター建設は、新たな工事の車両通行を柏側の道路利用を要請、
そのほかは特に問題はない。

（土谷津町会）道路新設は今下期工事の見込み。

（日新自治会）工業団地計画は2025年1月から開始とのこと。

(久寺家三菱自治会) 10月に全世帯参加クリーンデー実施だが、グレーチングが重く高齢者は掃除できないので市道路課に相談する。

10月15日豪雨は僅か30分で95mmの雨が降り浸水地域発生、このような雨量が当たり前の気象状況になってきた。

(久寺家2丁目自治会) 側溝清掃はヘドロの多い深いところを市道路課に依頼した。ごみネットが重い、汚い等からボックス型に更新した。

(久寺家マンション自治会) 豪雨での浸水被害は下水管工事により小さくなった。

(消防団第9分団) 消火機材操法訓練、土嚢など雨対策訓練、手賀沼花火大会警備などを実施、年末は消防車で地域の防火夜回りを実施する。

(みんなの広場風) A型就労から戻った人も含めて利用者が増加、活動は順調に推移している。

(久寺家生活お助け隊) 夏季は草取りをやめていたが10月から正常活動になる。

(北地区社協) つくし野で孤独死2名発生、根戸地区の開発で樹木が減っている。

2日からつくし野近隣センターで夜間中学開設、11月1~3日はバザー開催。

(よりみちサロン風) 夏季は利用者が減少した。活動の中で見守り関連情報があれば都度民生委員、なんでも相談室に連絡を取っている。

(民生・児童委員) 単身世帯中心にあんしんカード更新配布した。

活動の中で高齢者見守りでは人と人のつながりを強くすることが大切と感じている。

(4) 我孫子市「地域包括的ケアシステム」取り組み状況

前回に続き3回目の本議題の取り組みとして、高齢者支援課から市の包括的ケアシステム取組みの背景と実施内容、期待される地域での支え合い活動などパワーポイントを利用して詳細な説明が行われた。講演の後質疑が行なわれ、高齢者が居住地で自分らしく生活を送れるためには、市が提供し高齢者が利用できるサービスや取り組み内容の住民への周知拡大、地域の関連活動を指導・支援する生活支援コーディネーターの増強、高齢者へのスマホなどデジタル機器操作訓練の強化、等が必要との意見交換があった。

最後に、介護保険と家族だけでは担うことが難しく、地域での取り組みが期待される「支援のスキマ」の内、「支えあい、見守り、つながり、学び合い」の4つの活動について、久寺家地区での地域対応をより進めるために、各団体は現在の活動の中でどのようなことができるか、また新たに組み入れるものがあるのか、ご検討を願いたいと事務局から提案があった。次回会議で意見交換の場を設ける。

(5) 久寺家地区防災訓練の準備状況

6 自治会協議会事務局から今年度の防災訓練の準備状況につき

報告があった。これまでの反省から、今年度は、自治会長、班長は自治会での訓練の推進、会場での見学体験誘導を主に担当願ひ、また訓練種目も絞りできるだけ多くの皆さんに体験をしてもらうように進めたい旨説明があった。

以上